



希望あふれる春に向けて

校長 陸田 由喜子

2月は、「如月（きさらぎ）」とも言われますが、「衣更着」とも書くそうです。これは、寒いので着るものをさらに増やすという意味だそうです。通常、2月4日が暦の上では春になるという立春ですが、今年の節分は2月2日。3日が立春となります。とはいえ、まだまだ寒さが厳しい日が続きます。空気が乾燥するこの時期は感染症が流行しやすい時期でもあります。学校でも引き続き、手洗いや換気を励行しながら、子どもたちが元気に学校生活を送れるよう、留意していきたいと思います。

今年度の学校生活もあと2か月となり、毎年この時期は1年間の振り返りや進級に向けての準備を行う時期でもあります。現在、各学年とも学習や生活の総まとめに取り組んでいるところです。また、今月末には最後の「宮内なかよしタイム（交流活動）」や「6年生を送る会」が行われるなど、卒業生から在校生にバトンを引き継ぎ、在校生から卒業生への感謝の気持ちを伝える機会が多くあります。6年生も「宮内にどんな伝統を引き継いでいこうか」と一人一人が真剣に考え、奉仕活動や挨拶運動などに率先して取り組んでいます。多くの場面で在校生のよき手本となる姿を見せてくれ、とても頼もしく感じています。様々な機会を通し、卒業生から在校生まで全員が、達成感や自信をもって次の学年へ進級できるよう、職員一同バックアップしてまいります。

さて、昨年末に各ご家庭にお願いした「学校評価アンケート」につきましては、多くの保護者の皆様方にご回答いただき、誠にありがとうございました。このアンケートは、学校の現状や児童の様子、教育活動等について、保護者の皆様にご意見を伺い、今後のよりよい学校運営に生かしていくことを目的として毎年実施しております。アンケートは、ほぼ同様の項目で子どもたち、教職員も行いました。学校では、職員研修を設定し、児童、保護者、教員の三者のアンケートの回答結果を比較、分析をしながら、今年度の成果や来年度に向けての課題等について話し合いました。

今後は、本校に様々な面から関わっていただいている地域や保護者の代表の方々が集まり、学校運営等について話し合う場である「学校運営協議会」でアンケート結果や職員の分析結果等について報告し、ご意見を伺う予定です。その後、最終的に今年度の学校評価としてまとめていきます。保護者の皆様、地域の皆様には、2月28日に予定している学校報告会や学校ホームページ等でお伝えしてまいります。

「地域に開かれ、地域と手を結ぶ信頼される学校作り」を具現化していくためにも、今後も、保護者の皆様、地域の皆様に支えていただきながら、子どもたちのよりよい成長のために学校運営を進めていきたいと思っております。今後ともご理解ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2月28日（金） 学校報告会・懇談会

14:40～各教室にてTV中継で学校報告会を行います。報告会終了後、そのまま懇談会を行います。万障お繰り合わせの上ぜひお越しください。学習室懇談会は学級懇談会終了後、学習室にて行います。



★次年度の在籍人数確認をしています。転出が決まりましたらすぐに担任までお知らせください。